

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.122号 2021年12月1日発行



晩秋のバザーを終えて

11月10日、明け方まで降っていた雨も上がり、落ち葉の絨毯となっていたガーデン。たくさんのお手作りの品やリースが並びました。北風に震えながらのバザーでしたが、皆さんの頑張りでも売り上げも好調でした。この1年のメンバー

の頑張りや連帯感が集約したものと感じました。出品された物も、素敵な心のこもった手作りの品で、このハーブガーデンの理念を受け継がれた物と思います。

私は、今年初めてバザー係になり、お手伝いをさせて頂きましたが、とても楽しかったです。そう、まるで文化祭をしているような気持ちではしゃいでしまいました。春は緑に染まり、秋は紅葉に染まり、季節を感じながらメンバーの方々と行事をできたことは、忘れられない思い出となるでしょう。



北風が強く吹く寒い日だったので、ガーデンに出て来れずに、窓から見ていた患者さんもいたかもしれませんね。私たちグリーンボランティアは、病院のスタッフと患者さんを励ますために活動しています。花の春を楽しみにこれから来る寒い冬を乗り越えましょう！ [小野里]



お知らせ

◎以下の日程で学習会を行います。

場所：講堂（病院東棟2階） 飲み物は各自持参

- 1月19日（水） 10:30～11:20 役割分担について
11:30～12:30 鎌田実先生のお話
- 2月9日（水） 10:00～12:00 ビデオ鑑賞、庭づくりの基本方針・年間計画について話し合い
- 3月9日（水） 10:00～12:00 萩尾エリ子先生のお話
会計報告、役割分担等について

*会場等の都合により、当初の予定日が変更になりましたので、日時にご注意ください。

◎3月30日（水） 10:00～12:00 バラの剪定と作業小屋の整理を行います。
参加できる方はお願いいたします。

ハロウィン点灯式に参加して

10月29日、夕暮れの庭には、病室の窓からよく見えるベンチにジャック・オー・ランタンが行儀よく並んでいました。かぼちゃにそうっとうろそくを入れ点灯していると、仲良く庭を散策している親子連れの方から声をかけられました。



娘さんは日頃のグリーンボランティアの活動に対して、熱のこもった口調で感謝の気持ちを伝えてくださいました。お父様はこの病院の患者さんで、ハロウィン散策を心から楽しんでいる様子でした。いつの間にかお二人も私達の仲間になり、会話を楽しみながらいっしょに庭を巡りました。辺りにはかぼちゃの甘い匂いが漂い、ジャック達の表情もくっきりと浮かび上がり、いつもの庭が何とも不思議な世界に変わっていきました。

私は今回が初めての参加でしたが、この日の患者さん親子との小さなふれ合いが心に残っています。私の心にまでぽっと灯りがともった素敵なひとときでした。
[藤平]

コラム No.17 ” 家庭菜園で豊かな食生活を “

近くの休耕地を借りて家庭菜園を始めて 20 年近くになります。毎年春になると原村の酪農家から軽トラ 1 杯分の牛糞堆肥を分けてもらって、土づくりから作業が始まります。長年、有機肥料だけで耕作しているので、ふわふわの柔らかい土壌になりました。夏野菜を中心に 30 種類ほど作っていますが、トウモロコシ、カボチャ等は冷凍保存して、コーンスープやカボチャスープ、時にはカボチャのニョッキとして年を通して食卓に登場します。夏に作るジャガイモのビシソワーズや秋、冬に楽しむ野菜たっぷりのミネストローネは我が家のスープの定番です。

今年新たに冷凍保存食に加わったのはインゲン類、パプリカ、里芋です。ストーブを焚く季節になりましたが、厚手の鍋を載せて色んな豆を煮るのも楽しみです。無農薬の有機野菜は安全であることは勿論、味も良いと思います。



大日菜園の夏と秋

都会から来る別荘の友人たちに季節折々の作物をお裾分けしますが、皆さん揃ってその味の良さを褒めてくれます。お返しにワインやチーズ、その他こちらでは手に入らないデリカテッセンを頂くのは嬉しい余禄です。これからも新しい野菜に挑戦したいと思っています。
[大日]